

観光戦略研究会について

和歌山大学経済学部

教授 小田 章

本研究会は、和歌山県の観光及び観光産業の発展を目指して、平成 12 年度事業として立ち上げ、3 年間にわたり研究するものである。

和歌山県では、観光産業は重要であり、この分野のさらなる発展が望まれている。観光資源だけを見れば、他産業に比べて遜色がない。にもかかわらず、この十数年特別なイベント開催時をのぞき、観光客入り数は増加していない。この要因が奈辺にあるかを分析し、有効な施策を立案することが必要となる。

そこで、本研究会では、まず和歌山市内の観光問題から検討を始めることとし、昨年 11 月には、和歌の浦観光協会、和歌の浦観光旅館組合及び（株）JTB 和歌山支店長をゲストに招き、和歌の浦の現状や和歌山県内の観光事情を伺い、本研究会の研究員と意見交換を行った。和歌の浦は、古く万葉の時代から和歌の題材として詠まれたように由緒ある名跡である。しかし、今はその面影も薄れてきている。我々は、和歌の浦再活性化プランを検討し、県内外の多くの人々が訪れるような観光スポットにする策を検討しようとするものである。

和歌山県の観光資源は、一つ一つ見れば、非常におもしろく興味深いものである。しかし、現在はスポット的に一つの資源を売り込むだけでは十分な集客要因とはならない。必要なことは、それらをネットワーク化し、点としてではなく面として観光資源を再構築することである。そのためには、県内の観光関連業者の方々はもとより行政や経済団体等が協力し合うことが肝要となる。

こうした基本的方針に基づいて、本研究会は今後 2 年間にわたり和歌の浦地域と和歌山県全体の観光産業の活性化の可能性を探っていくこととする。